

平成30年度 社会福祉法人池田芽ばえ福社会業報告書

1. 東山作業所（生活介護・日中一時）事業報告

➤ 基本方針

法人基本理念である「障がいのある人を一人の人間として尊厳を重んじる」「本人の意向を大切にし、その人らしい生き方ができるように支援する」「地域で充実した暮らしができるように支援する」「地域生活の大切さを社会へ伝えるパイプ役になるように努める」を基本方針としています。

個々のニーズを大切にしながら自己選択、意思決定ができるような機会をもてるようにきめ細かな支援を行ってまいります。

➤ 事業内容

日中生活を安心して過ごせるように生産活動を中心に日常生活上の支援及び余暇、創作活動、レクリエーション活動等を提供しました。

➤ 利用状況の実績

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 開所日数(日) | 19 | 21 | 20 | 20 | 19 | 17 | 22 | 21 | 19 | 18 | 19 | 19 |
| 延利用者数(人) | 990 | 1068 | 1009 | 1006 | 957 | 893 | 1136 | 1082 | 953 | 909 | 916 | 971 |
| 1日平均利用者数(人) | 52.1 | 50.9 | 50.5 | 50.3 | 50.4 | 52.5 | 51.6 | 51.5 | 50.2 | 50.5 | 48.2 | 51.1 |
| 月平均利用率(%) (1日平均利用者/定員) | 93.3 | 96.0 | 95.3 | 94.9 | 95.1 | 99.1 | 97.4 | 97.2 | 94.7 | 95.3 | 90.9 | 96.4 |

※少数第2四捨五入 平均年齢 43.2歳(平成31年3月31日現在)

➤ 利用者支援の実績

(A B班)

個別支援計画をもとに支援目標やニーズ及び常に観察することを忘れずにきめ細かな支援をすることを心がけました。出来る限り社会参加や地域交流、色々な体験の選択肢や機会を設け、利用者の自己決定、意思を取り入れるよう努めました。年々、利用者の高齢化に伴う嚥下など機能面の低下を常に意識した支援が必要になっています。歯の治療、口腔ケアも家族との相談を含めて検討し、対応してきました。利用者の体調の変化に注意し、看護師、嘱託医、理学療法士と連携を図りながら日々の健康サポートに努めてまいります。

《生産活動支援》

受託加工をしている作業の中から、工程の一部を生産活動として取り組みました。

また、その材料や完成品を所内運搬することによって生産活動中心グループとの関わりも持てました。作業種としては「100円商品加工」「ゴム並べ及び検品、袋入れ」「さをり製品の検品」「お菓子の袋詰め」「ペットボトルキャップ回収、仕分け」「EMボカシの生産」など行っています。特にEMボカシはとよのびあ in 池田にて売れ筋商品の為在庫確保に努めました。

各自適性を見ながら環境を整えていくことで個々のスキルがアップし利用者の意欲向上が見られるようになりました。

《生活支援プログラム》

・お楽しみの日・所外活動

A・B班とも調理や外出、外食など、気分転換と色々な体験の機会としました。

◇お楽しみの日（月1回）

| | A 班 | B 班 |
|-----|---------------------------------|---------------------------|
| 4 月 | 調理「餃子の皮のお菓子」 | 芝生で焼き肉 |
| 5 月 | 道の駅「いながわ」 | 製作 ハーバリウム |
| 6 月 | 一日お楽しみの日 鶴見緑地「咲くやこの花館」 | みのおキューズモール買い物、ゲーム |
| 7 月 | ミニプール、ミックスジュース | 須磨水族園 |
| 8 月 | ミニプール、フルーツポンチ | 調理「パフェ作り」 |
| 9 月 | 所外活動 パナソニックミュージアム | 選択外食 「焼肉特急」 or 「スシロー」 |
| 10月 | 調理「フルーツサンド作り」 | 選択「カラオケ」 or 「五月山散策」 |
| 11月 | 選択 「カラオケ」 紅葉狩り（五月山）とポプラ喫茶 | 所外活動 イオンモール伊丹ショッピング、食事 |
| 12月 | 忘年会 | クリスマス会 |
| 1 月 | 新年会「福笑い」、茶話会 | 絵馬作り、喫茶「だんだん」 |
| 2 月 | 選択外食 「偶」 or 「大戸屋」 | 調理 たこやき |
| 3 月 | お疲れさま会 | お疲れさま会 |

・月一喫茶

店番をする側、および準備する側に立つことにより、自信とやりがいを持てるように支援しました。宣伝やお金の受け渡しなどの接客に関り、必要な挨拶も定着しました。メニュー立案は、利用者の意見を聴きながら行っており、新しい情報を得ながら楽しみの一つとなっています。

◇月1喫茶内容

| | | | |
|----|----------------|-----|----------------|
| 4月 | チョコパイ、おかき、ジュース | 10月 | チョコパイ、煎餅、ジュース |
| 5月 | フルーツゼリー | 11月 | ドーナツ、カステラ、ジュース |
| 6月 | アイスもなかパフェ | 12月 | パウンドケーキ、ホット紅茶 |
| 7月 | アイスクリーム | 1月 | 色々なお菓子、温かい飲み物 |
| 8月 | わらび餅、ジュース | 2月 | ホットプリン |
| 9月 | グリーンティ、カステラ、煎餅 | 3月 | チョコ菓子、飲み物 |

・ゆとりの時間・ほんわかタイム

毎週金曜日の午後、リラックスしてもらうことを基本に、音楽活動やビデオ鑑賞、マットリラックス、製作活動などを行いました。月1回の音楽療法は主にハンドベル、歌の練習をAB班合同で行っ

ています。

【内容】カラオケ・DVD鑑賞、イントロクイズ大会、マットリラックス、音楽療法、製作活動、音楽鑑賞、TVゲーム、グランドゴルフ、カードゲーム、カルタ&坊主めくり、ボウリングなど

ほんわかタイムは、曜日ごとに製作や園芸、生活、運動、娯楽、DVD・パソコンや音楽鑑賞などの内容を展開しました。特に塗り絵はより細かな色使いになってきています。作業所まつりに向けての大作もいい目的になり壁面を飾ることができました。利用者の個々のレベルでの習熟と集中力の向上が感じられました。またリラクゼーションの機会にもなっています。

【内容】塗り絵、パズル、国語、算数、英語や社会の問題、ゲーム、パソコン、カレンダー製作など

・洗濯、清掃活動

一年を通じて所内の洗濯作業の一部を担い、干し、取り入れ、たたみと一連の活動に努めました。その他清掃活動として掃除機を使用しての自立支援を行いました。

・ウォーキング

A班においては、体力の維持向上を目指し、体調や体力面を考え、個々のペースで取り組みました。毎週金曜日は、長距離ウォーキングとして実施しました。

B班においては歩くペースにより2班に分かれ、体力増進や、季節の変化を感じながら歩くことを目的としました。

・歩行訓練・リハビリ体操（所内運搬・階段昇降など）

歩行の機能維持については必要に応じて階段を使用し2階への作業材料運搬を行うなど個別支援を行いました。

ストレッチ体操においては、理学療法士の助言のもと随時、取り組みました。

また、食事前は、嚥下体操を行い誤嚥防止に努めています。

・園芸活動

駐車場や所内のミニ畑に季節の野菜を栽培、収穫しました。成長の鑑賞と収穫の喜びを感じ、所内外での野菜販売にも貢献しました。春先から秋まで、草抜き、肥料まき、水やり、収穫において役割を持って行うことが出来ました。今年も緑のカーテン作りとして、ゴーヤ栽培をしました。

・納品や通信の配達

所外にも積極的に出かけることにより、マナーや社会性を養うことに努めました。

とよのピアやみどりの郷、インクカートリッジ、ペットボトルキャップの回収に出かけました。それぞれの役割意識の向上、地域の人と関わることで良き地域交流となっています。

・絵本・紙芝居活動

絵本や紙芝居を準備、進行、片付けの役割を決め、読み聞かせにより、情緒の安定を図りました。

また、返却と借用時には自己決定の機会となっています。

- ・朝の会・終わりの会（設定学習）

見通しが持てるように事前支援や再確認するための事後支援、情報の共有化のため行事や所外活動時の報告会の実施を励行しました。学習面や連絡事項では、図解などで視覚的要素を取り入れて理解を深めることに努めました。

- ・地域清掃の日

気候をみながらA班、B班とも作業所周辺歩道の清掃を行いました。

(CDE班)

日中生活の中で本人や家族のニーズ聞き取り、掘り起こしをしながら個別支援計画書を作成しました。家庭や地域生活支援センター、各事業所と連携のもと多様なニーズに対応できるように支援を行いました。本人の意思決定から生活の質を高められるように心がけました。

近年、生活面で体調の変化、健康に配慮した活動が必要です。

30年度も個別対応のニーズに沿い、生産活動のみではなく日課に変化をつけ、環境を整えました。

その他にも必要に応じて班ごとにストレッチ体操、ウォーキングを日課メニューとしています。

《生産活動支援》

報告、相談、連絡を意識しての自発的活動の支援に努めました。

利用者個々の能力を生かせる加工工程に取り組める支援に努めました。

視覚支援や自助具の開発で障がい特性に合わせた生産活動支援に努めました。

企業のニーズに応えていくことを利用者、支援員ともに共通認識し、信頼される生産活動となるよう努めました。

仕事としての意識を持つことで社会の一員としての喜びや達成感を味わえるよう支援に努めました。

- ・自主製作品

さをり織り、手漉き紙、手作り品、を商品化し販売促進に努めています。

さをり織りについては池田市より記念品として取り扱っていただき収入源となっています。

- ・支援員間連携

受託作業種が多種多様にわたるため、職員間の連携のもと、利用者の適性に応じた分担の配置を行っています。

納期や検品、仕上げの手順、チェックポイントを共有しました。作業仕様書の整備と明確な伝達が継続課題です。

支援については班ミーティングで個別報告をしながら担当支援員のみではなく担当外でも共通の認識として支援できるようにしました。

- ・仕入品

焼き菓子を生入れ、近隣の高齢者事業所への外販で自主製作品や食品をコンスタントに販売できました。

他にそうめん、芋けんぴを生入れ販売することにより収益となっています。

《施設外販売活動》

・とよのピア販売員担当

月2回の販売担当は継続できました。

個々の適性により役割を分担し、業務習得の支援を行いました。

単独で昼食を摂りに行くなど自立にもつながっています。

《生活支援》

・健康管理

高齢に伴う生活習慣病予防、肥満傾向の改善が課題です。日中での体調に留意しました。情緒面も含めた体調の変化に気づき家庭やケアホーム、嘱託医、看護師と連携して異常を早期に見つけていくことが必須です。

看護師、理学療法士へ日々の体調、体の痛みなどの相談がしやすくなり家族へも専門家としての所見を報告し医療へつなげることができました。

・利用者活動

月1回の利用者会議（21世紀会議）では、意見の表明や理解の難しい利用者に対する選択、決定への支援を行いました。その月の予定や変更事項など連絡する機会とし見通しをもって活動できるように支援しました。

月1回の余暇的な活動（太陽会）として半日外出、買い物、スポーツ、見学、文化活動などを実施しました。

・個別支援計画

個別支援計画の作成に基づいた支援の実施について支援計画が形骸化しないように毎月1回のミーティングで確認しながら実践しました。

年2回モニタリング評価、総括としてケアプランの実施状況など見直しを行い利用者家族面談を実施しました。

長欠者には必要に応じて連絡をとり、家庭訪問、面談、個別送迎を実施しました。

・他機関との連携

気分の不安定さや行動面の執着心などある際には家庭への連絡、心療内科受診時の報告を行ったり、通院同行し助言を仰ぎながら支援をすすめています。

・太陽会（余暇支援）実施状況

| | C 班 | D 班 | E 班 |
|----|---------------------------|------------|----------------|
| 4月 | 新入所者歓迎会（作業所芝生） | | |
| 5月 | な し | | |
| 6月 | 喫茶：ポプラ | 買物：つかしん | 喫茶：Dining だんだん |
| 7月 | 製作：レインボーライト | 製作：ネームプレート | 買い物・喫茶：猪名川イッ |
| 8月 | 選択：①外出・伊丹空港 ②調理・ハワイアンスイーツ | | |

| | | | |
|-----|------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|
| 9月 | 喫茶：猪名川イオン | ボウリング：ラウド [®] ワシイ丹 | 映画鑑賞：インクデ [®] イブルファミリー |
| 10月 | なし | | |
| 11月 | 一日太陽会 選択：ヤクルト工場見学 | | 大阪科学技術館 |
| 12月 | 合同忘年会：外食・レストラン「ブリッジ」 | | 出し物披露と鑑賞 |
| 1月 | カラオケ：レインボー 川西多田院店 | 耐寒ウォーキング： キセラ川西せせらぎ公園 | カラオケ：レインボー 川西多田院店 |
| 2月 | 選択：製作 ①ボトルフラワー ②フェルトボールコースター | | |
| 3月 | 合同納会「お疲れさん会」 バーベキュー&カラオケ | | |

・リラックスタイム

班に関係なくリラックスタイムとしてニーズに応じて3チームに分かれ週1回作業を離れてウォーキングや製作活動を取り入れています。

➤ 第16回東山作業所まつり

10月27日（土）に東山作業所において、地域交流、施設開放の一環として東山作業所まつりを実施しました。太鼓集団の演奏、お笑い、当事者よさこい踊り、歌などのステージ、やきそば、フランクなどの模擬店、ゲームコーナー、ラッキー抽選会などの催しがありました。また自主製作品販売に加え今年も「被災地物産コーナー」も設け復興支援の一助としました。

➤ 苦情解決・サービス向上について

要望等については数件ありましたが、迅速に対応、回答することに努めました。他害による利用者支援対策が急務となっています。（受傷による外科受診も増えました。）

ヒヤリハットについては単純な当所側のミスというケースもあり、回覧だけではなく、虐待防止委員会等でも確認、情報・認識の共有、徹底を図りました。

今年度の苦情、ヒヤリハットを第三者委員にも報告、所内研修としてリスクマネジメント研修を行いました。

➤ 防災について

火災、地震など自然災害に対し、年2回の避難訓練を行いました。

様々なシーンを想定し咄嗟の判断で利用者対応できるように備えました。

➤ 職員研修について

＊所内研修（6回）

AED講習会、コミュニケーション研修、感染症伝達研修、強度行動障害事例研修
虐待防止人権研修、事故防止研修

＊所外研修（28回）

強度行動障害支援者養成、初任者研修、感染症、市民後見人、人権研修、ダウン症セミナー
相談支援従事者初任者研修、苦情解決第三者委員会、虐待防止権利擁護 他

➤ 車両安全運行計画

送迎サービスを安全、安心に利用して頂くため、職員に安全運転意識を向上させること。また、非常時に迅速な対応がとれるようにマニュアル整備などを行いました。
整備管理者を選任し必要な点検整備の把握に努めています。

2. 東山作業所運営状況報告（別紙1参照）

3. 経 過

平成30年 5月18日 監事会開催

平成29年度事業報告・各会計決算報告

6月12日 第1回理事会開催

平成29年度事業報告、各会計決算及び監査報告、定時評議員会の招集

6月27日 定時評議員会開催

平成29年度事業報告、各会計決算及び監査報告

10月27日 第16回 東山作業所まつり

平成31年 3月18日 第2回理事会開催

指導監査及び実地指導の報告、経理規則の一部改正、常勤職員就業規則の一部改正、非常勤職員就業規則の一部改正、パートタイム就業規則の一部改正、平成30年度第1回補正予算、平成31年度事業計画、